

木材価格市況標準相場

令和8年2月4日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	3
南洋材・中国材	1
北洋材・北欧材	1
合 板	1
(2) 値下げ品目	2
合 板	2

○今月の市況動向

1月の商況は、全体的に荷動きは低調で推移した。住宅着工は回復傾向が見られるものの、実需の盛り上がりには至らず、問屋・メーカーとも採算は厳しい状況が続いている。一方で原木価格や輸入コストは高止まりしており、価格は下げにくく、「保合～強保合」が中心となった。また、為替の円安、運賃・加工賃・人件費の上昇により、コスト圧力は強く、今後も価格は底堅く推移する見通し。

(国産材) 秋田では原木の入荷量が安定しており、価格は「やや弱含み」となったものの、16,000円台を維持している。構造材は荷動きが悪い状況が続いているが、輸入材から国産材への切り替えは進んでいる。注文材については、短納期の案件が多く、収益を圧迫している状況である。

(輸入材) 値上がり品目となっている「メルクシーパイン集成材」は、国内在庫がさらに減少している。Aグレードの価格が上昇し過ぎたため、ローグレードへの引き合いが強まっている。また、カナダの2025年のSPF生産量は、2020年比で63.6%との報告があった。

(合板) 輸入合板・国内合板共に、荷動きは低調で推移している。輸入合板の12月通関統計は17.7万㎡と11月から回復したものの、12mm主体のマレーシア産は3.9万㎡の低水準になっている。国内メーカーでは、東西で供給に対する温度差が感じられる。

▽秋田材

品名	形量			等級	単位	価格		比較 +高-安
	長	厚	巾			1月	2月	
秋田杉板	1.82m	0.7cm	30cm	源平無節	坪 (2坪)	15,000	15,000	
秋田杉小巾板 (芯去り)	3.65m	1.3cm	9.0cm	特1等	m ³ (B/L)	68,000	68,000	
秋田杉押椽	3.65m	1.3cm	4.2cm	特1等	本 (B/L)	150	150	
秋田杉小割	3.65m	2.1cm	3.0cm	AD 上小無節	本 (B/L)	320	320	
秋田杉相挾板	3.65m	1.3cm	18cm	AD生節 特1等	束 (束)	4,450	4,450	

秋田産地の原木市場の状況は、丸太の入荷量は2000立方mを超え入荷量が安定して来た。価格は少し弱含みとなったが16,000円台を維持している。ほぼ全量落札している。まだ少し不足感がある。製材工場はそこそこ注文が来ているが、寒さで丸太が凍り付き、大雪のため除雪作業に時間を取られ生産が上がらず苦勞している。問屋の商いは、正月明けイベント関係や舞台テレビ関係は忙しくいい動きをしている。

(愛三木材(株)・栗田典)

▽平角

品名	形量			等級	単位	価格		比較 +高-安
	長	厚	巾			1月	2月	
米松平角 (KD材)	3m	12cm	21cm		m ³ (バラ)	130,000	130,000	
米松集成梁	4m	12cm	30cm		m ³ (バラ)	210,000	210,000	
欧州赤松集成梁	4m	12cm	30cm		m ³ (バラ)	140,000	140,000	
構造用梁 SPF	14F (4.267mm)	2×4 (38×89mm)		J-GRADE No.2	本 (バラ)	1,900	1,900	
構造用梁 SPF	14F (4.267mm)	2×10 (38×235mm)		J-GRADE No.2	本 (バラ)	5,760	5,760	
構造用梁 米松	14F (4.267mm)	2×10 (38×235mm)		J-GRADE No.2	本 (バラ)	6,000	6,000	
S P F	12F (3.658mm)	1×4 (19×89mm)			本 (バラ)	930	930	

受注・売上に関しては、1月の荷動きについては、前月12月よりも低調な推移が続いている。前月比1割減。前年同月比は2割以上減少。しばらく低調な推移は続くと思われるが、直近は問い合わせやお客様から仕事が入ってきた話を耳にする。こうした状況を踏まえ、今後、木材需要の回復が見込まれる状況を期待している。SPF材の動向は、先物価格は、1月積契約交渉中、円安が進み決着がつかない中、大きく円高が進み、現地ドル価変わらず、日本向け価格も変わらず、個人的には適正な状況であると感じている。カナダの2025年SPF生産量は2020年比で63.6%となり、減産、工場閉鎖の影響は強く出ている。また冬場は工場の稼働も弱く、暫く現地流通在庫はタイト。現地流通価格はじり高。ただ、米国の高金利環境により北米住宅市場の本格回復には時間を要するとの認識が示されているので、急激な値上げが発生する可能性は低いと考えている。国内在庫は、直近、入荷増えている印象。価格は変わらず。一部、船積み遅れはあるものの、不足感で慌てる雰囲気はない。梁材の動向は、価格と動きは、今月も